

# 名古屋鉄道 5000系 モ5050形 形式図

1955年末にデビューした特急用の流線型電車  
 名鉄の高性能車の第一陣で、先頭車モ5000、中間車モ5050各2輛を4輛固定編成にして活躍を始めた  
 前から見ても丸みを持った流線型や、窓周りのデザインなどに新鮮さが感じられた車輛  
 日本車輛で5編成20輛が製造、台車はFS307  
 塗色はマルーンとピンク系の塗りわけ  
 なお、1957年には同系の中間電動車モ5150形10両が加わり6輛編成になった

